

「お気に入りの木の1年」



矢作東小学校3年生は、学校内にある木から自分のお気に入りの木を決めて、その木の1年間を調べる活動を行う。木の近くに宝物を隠したり、目隠しをして自分の木を探したりとネイチャーゲームを通して、木と親しんだ。これからも、木に触れたり、インターネットで調べたりして、お気に入りの木の1年間を追い、発表に向けて進めていく。

(文責：矢作東小学校 牧野 麻穂)

「みんなで高めよう防災意識」



緑丘小学校4年生では、「防災」をテーマに個々に学習を進めている。防災グッズや避難場所での過ごし方、非常食、地震が起こるメカニズムなど、個別のテーマに取り組むことで意欲的に取り組んでいる。9月末には日本赤十字社に出前授業をお願いした。被災したとき、自宅に帰るまでに何が起こり、どう対応すべきかを、すごろくを通して学ぶことができた。

(文責：緑丘小学校 玉置 佳永)

「カワバタモロコ大作戦」



本宿小の3年生は、大型の水槽に、2匹しかいないカワバタモロコに目を向け活動している。育て方や繁殖の仕方なども分からないことから、東海中の自然科学部員に話を聞き、地域の貴重な生き物であることに驚いた。そして子供たちは、より一層カワバタモロコを自分たちの手で育てていきたいと考えるようになった。今後は、飼育をどのように継続し、大切さを全校に伝えていくのか考えていく。

(文責：本宿小学校 長島 亮輔)

「ICT機器を通して生まれた生徒の自主性」



北中学校の1年生は、生態系について考え、その中でも絶滅危惧種に着目した。ICT機器を活用し、生態系について、学級対抗クイズ大会を行った。その過程で生徒の絶滅危惧種への気付きや関心が高まった。その結果、後に行った校外学習では、絶滅した原因や過程など個人で視点を持ち、積極的に調べ学習を行う姿があり、生徒の自主性につながった。

(文責：北中学校 西嶋 孝弘)

「働くことに興味をもち、調べよう」

葵中学校の2年生は一年間でキャリア教育学習を行っている。まずは「人はなんのために働くのか」をテーマに身近な働く人へのインタビューを行った。「職業について詳しく知ろう」では、職業調べを行ってプレゼンテーションを作成し発表を行った。「働いている人の考えを知ろう」では、職場体験学習や職業講話で働く人との交流を通じて職業感を得ることができた。「自分の将来について考えよう」では、ドリームマップを作製し、自分の将来について考え、3年生の進路選択につなげていくことができた。

(文責：葵中学校 目黒 真一)